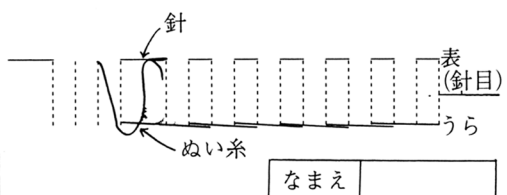


・6年約半数ずつみられるが、5を正しくぬっているとまっすぐな点より正解とした者が5年で全体の約3分の1、6年で4分の1とでている。「なみぬいの針目」との間に、なみのような針目と誤ってとらえ、2と選定した者もでた。理由としては、まっすぐに縫ってある、表と裏の針目の同じ大きさのもの、縫目の丈夫なものなどの意見が98.2%の大部分で、その他の理由としては、糸こきの点から眺めてちぢんでないのがよいとの見方が強い。

〈調査問題8〉

8 つぎのぬいかたは、どんな名まえをつけたらよいでしょうか。



なまえ

•なぜそうつけましたか。

調査8は、5・6年生が、どういう名まえをつけるか、その結果、働かせたと思われる思考をあげてもらった。

——調査問題8の集計——

|              |
|--------------|
| 経験から         |
| 1.耳ぬい 2.なみぬい |
| 形からの関連       |
| 1.ジグザグぬい     |
| 2.表かえしぬい     |
| 3.間ぬい        |
| 4.かりぬい       |
| 5.点線ぬい       |
| 適用           |
| 1.しつけぬい      |

「半返しぬい」の実物を図示し、(表と裏の針目)名前をつけさせたところ正答率は下記のようなった。

|    |       |
|----|-------|
| 5年 | 87.1% |
| 6年 | 46.8% |

その他は左の名前がつけられたが、ひとつは、自己の経験で布の耳のよ

うにしっかり縫っているから「耳ぬい」と名づけ、なみぬいの変化した形で、同じく「なみぬい」と名づけている。

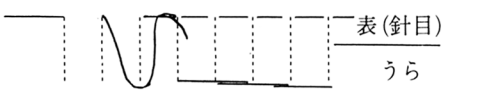
次に形からとらえて、ジグザグぬい、表へかえすから表かえしぬい、ただのかえしぬい、針目の間をあけてあるので間ぬい、又はかりぬい、針目は遠くで見ると点線ぬいのように見えるなど、また適用面から、しつけぬいとおさえた子もでる。

同じく半返しぬいを教えるにしても子どもの思考の働きを知り、名づけた理由を、経験、比較、適用思考とわけて類型したが、割合は下記のようなである。



〈調査問題9〉

9 つぎのぬいかたの名まえは、何とつけたらよいでしょうか。



なまえ

•なぜそうつけましたか。

調査9は、調査8の半返しぬいの対の調査として本返しぬいを選んでみた。調査8の理由づけに比べ、多面的な思考が働かせやすいかどうか測定してみた。

——調査問題9の集計——

|                  |
|------------------|
| 経験から             |
| 1.なみぬい           |
| 形の関連から           |
| 1.ジグザグぬい 4.全返しぬい |
| 2.直線ぬい 5.くり返しぬい  |
| 3.四角ぬい 6.返しぬい    |
| 関連 1.ふつうぬい       |
| 適用 1.本ぬい         |

ここでも表と裏の針目を図示し、思考の幅を限定させて考えさせた。名前は、示された図形との関連でつけたのが多く、